

# 電気学会 シンポジウム

## 「欧米大停電の教訓は何か」

### 開催のご案内

昨年夏に北米ならびに欧州で発生した大停電は、社会経済活動や人々の暮らしに大きな影響を与えました。

北米大停電については、米・カナダ両政府の合同特別委員会にて原因究明および対策の検討がなされる一方、昨年11月にわが国からも大学、経済産業省、電力関係者などからなる調査団にて現地調査が行われています。

この度、北米ならびに欧州での大停電をテーマとして、調査結果の概要、原因と対策そして、わが国への教訓を述べ、わが国の電力系統設備形成・運用・安定供給を支える技術等について分かりやすく解説し、これに対する専門でない電気技術者、学生等へも事象の正しい把握や最新情報・技術の把握に資するため、シンポジウムを下記により開催することといたしました。

奮ってご参加賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 日 時：平成16年5月11日（火） 14時～17時
- 会 場：全電通労働会館「全電通ホール」（千代田区神田駿河台3-6）
- コーディネータ：東京大学 大学院工学系研究科電気工学専攻 教授 横山 明彦
- パネリスト：(財)電力中央研究所 狛江研究所 副所長 谷口 治人  
(敬称略) 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力流通対策室長 岩野 宏  
関西電力(株) 支配人 企画室 田村 和豊  
東京電力(株) 理事 系統運用部長 松沢 邦夫  
中部電力(株) 支配人 流通本部 系統運用部長 竹尾 聡
- プログラム：
- ・導入 「これまでの大停電事故と事故波及メカニズム」 横山 明彦
  - ・講演1 「昨年の北米、欧州での大停電の事象解説」 谷口 治人
  - ・講演2 「北米北東部停電の海外調査とわが国への教訓」 岩野 宏
  - ・講演3 「わが国の電力系統設備形成」 田村 和豊
  - ・講演4 「わが国の電力系統運用」 松沢 邦夫
  - ・講演5 「わが国の系統保護と安定化システム」 竹尾 聡
  - ・討論
- 参加費：無 料（先着400名様まで。一般の方々にも参加いただけます。）
- 参加申込方法：参加者芳名、ご所属、ご連絡先（電話、e-mail）をご記載の上、e-mailまたはFAXにて次へお送り願います。  
電気学会 総務課（細川、板橋）  
e-mail：[kanri@iee.or.jp](mailto:kanri@iee.or.jp) FAX：03-3221-3704，
- 問合せ先：（上記電話番号）03-3221-7312
- 主催：電気学会

# 「欧米大停電の教訓は何か」

## プログラム

第 部 パネリストによる講演 14:00 ~ 16:25

- ・ 導 入 (5分)  
「これまでの大停電事故と事故波及メカニズム」 東京大学 横山 明彦  
(内容)  
過去に発生した大規模停電を概観し、事故波及の様々な様態について簡単に紹介する。
- ・ 講演 1 (30分)  
「昨年の北米、欧州での大停電の事象解説」 (財)電力中央研究所 谷口 治人  
(内容)  
昨年8月来の北米と欧州で発生した事故波及による大規模停電の経緯を平易に解説し、その原因と対策について、技術的な観点から解説する。
- ・ 講演 2 (10分)  
「北米北東部停電の海外調査とわが国への教訓」 資源エネルギー庁 岩野 宏  
(内容)  
昨年夏の北米北東部停電に関する海外調査の結果概要を報告するとともに、この停電が示すわが国への教訓について考察する。
- ・ 講演 3 (30分)  
「わが国の電力系統設備形成」 関西電力(株) 田村 和豊  
(内容)  
くし型系統といわれるわが国の基幹系統構成が、欧米のループ、メッシュ構成と大きく異なる点等を中心に、わが国電力系統設備形成面の特徴を述べる。
- [ 休 憩 ] (10分)
- ・ 講演 4 (30分)  
「わが国の電力系統運用」 東京電力(株) 松沢 邦夫  
(内容)  
電力系統の信頼度確保は電力設備の短絡・地絡電流の耐量限界や設備の過負荷限界、電力系統の電圧安定性や過渡安定度限界を予め把握し、万一、重大事故が発生しても対応策をとれる系統状態にしておくことが重要である。この事前の技術検討を系統運用計画といい、具体的な検討プロセスや運用管理の方法などについて述べる。
- ・ 講演 5 (30分)  
「わが国の系統保護と安定化システム」 中部電力(株) 竹尾 聡  
(内容)  
系統事故に対する保護体系ならびに事故波及を防止するための系統安定化システムを主体に、大規模停電防止への対応を述べる。

第 部 討 論 16:25 ~ 17:00 (35分)